

調査研究報告書

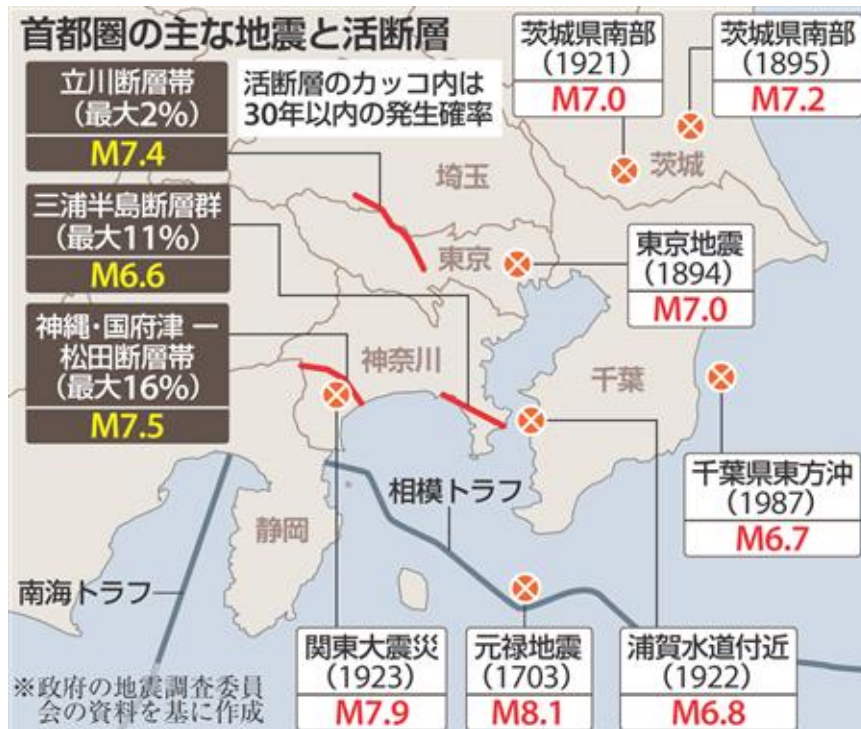
マンションの防災マニュアル作成

平成26年12月

〔I〕地震災害を知る

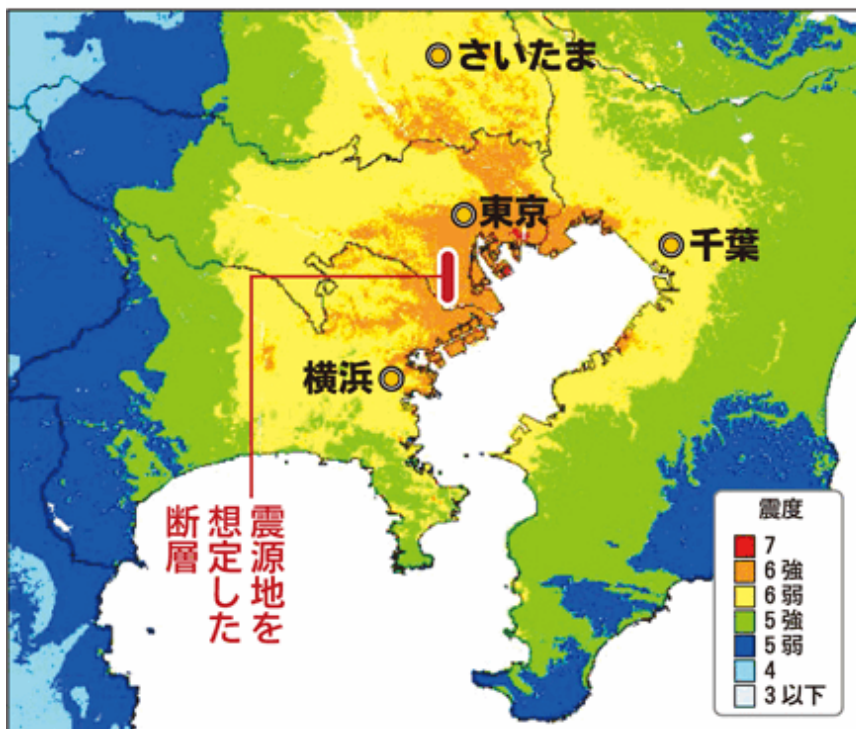
1、多摩地区で備えるべき地震

(1) 首都直下型地震の想定される震源地 (ただし、どこが震源地になってもおかしくない)



(2) 首都直下型地震の想定される地震分布

図6 震度の最大地の分布図 (首都直下地震)



2、八王子市における被害想定

(1) 市の被害想定（平成26年）

人口	562,679人	被害想定 多摩直下型地震M7.3、震度6強、風速8m/S の冬18時の想定 防災計画の被害想定では、死者・負傷者の主な原因は、揺れ・液状化、建物被害及び火災とされている。
世帯数	253,192世帯	
木造棟数	118,849棟	
全壊	7,006棟	
負傷者	5,341人	
内重傷者	763人	
死者	443人	
焼失棟数	6,599人	

参考：八王子市地域防災計画

なお、阪神淡路大震災（震度6強～7）における神戸市の死者率は0.3%、芦屋市は0.5%であった。想定では八王子市では死者率0.08%、焼失率4.6%と神戸市や芦屋市に比べると低くなっている。八王子市は東京都の中でも比較的 안전한地域と言われている。

(2) 八王子市の消防力・救急力

東京消防庁八王子消防署 (本署1、分署1、出張所6)	消防職員	435人
	消防ポンプ車	18台
	救急車	11台
消防団消防車両	水槽付消防ポンプ車	33台
	小型動力ポンプ車付積載車	56台

(1)の市の被害想定と(2)の消防力・救急力を勘案すると、地震発生後2～3日は消防車や救急車（公助）に期待はできない。

3、阪神淡路大震災でわかったマンションの被害状況

- (1) 新耐震構造（1981年6月以降の基準）のビル及びマンションは、ほとんど倒壊しなかった。
- (2) 倒壊したビル及びマンションが緊急輸送道路を閉鎖してしまった。
- (3) 住宅内部被害は高層階では1～2震度が大きくなる。

4、マンションの専有部分の被害想定

- (1) 家具・TV・サイドボード転倒（家具の下敷き・転倒時の怪我）
- (2) 窓ガラス破損（破損ガラスで怪我）
- (3) 食器類破損・散乱（破損食器による怪我）
- (4) 照明器具落下（落下による怪我）
- (5) 冷蔵庫転倒（下敷き・転倒時の怪我）
- (6) 玄関ドア等変形（閉じ込め）
- (7) トイレ使用不可
- (8) ライフラインの停止（ガス・水道・電気）

- (9) 上階からの漏水
- (10) 電話不通
- (11) 食料不足
- (12) 家族の安否不安・パニックといった精神的ストレス

5、共用部分の被害想定

- (1) 外壁・外廊下・外階段等破損・損傷
- (2) 外壁タイル等の落下
- (3) 高置水槽・受水槽破損・損傷
- (4) 給水ポンプ・電気配電盤損傷
- (5) 地下室閉じ込め
- (6) エレベーター停止・閉じ込め

〔Ⅱ〕 マンションの居住者の自助（自分の身は自分で守る。）

1、自宅で怪我をしないための対策

- (1) 家具の転倒防止取付け
- (2) 窓ガラスにフィルム貼り

2、怪我の手当てと初期消火

- (1) 応急救護訓練
- (2) 宅内用簡易消火器
- (3) 通電火災

3、長期の自宅避難生活に耐えるため最低必要な物

- (1) 食料と水の備蓄（家族3日分）
- (2) カセットコンロとボンベ
- (3) 簡易トイレの準備
- (4) ソーラー照明やろうそく
- (5) ラジオ

4、マンションの耐震化

旧耐震基準で建てられたマンションは、耐震化することが必要です。しかし、現実には修繕積立金が不足しているため、工事費用が出せず、一向に進んでいないのが現実です。そこで、今すぐ10年計画で1戸当たり100万円の積立てをしましょう。10年後には安心してマンションに住み続けられます。特に特定緊急輸送道路沿道上のマンションは都と市から補助金が出るので、早急に耐震化を進めることが必要です。

〔Ⅲ〕 マンションの防災マニュアル作成

1、防災の基本的考え

「自助」・・・自分の生命財産は自分で守る (マンションの居住者、管理組合)

「共助」・・・自分たちのまちは自分たちで守る (町会等の地域コミュニティ)

「公助」・・・行政の支援 (消防隊・自衛隊等行政機関)

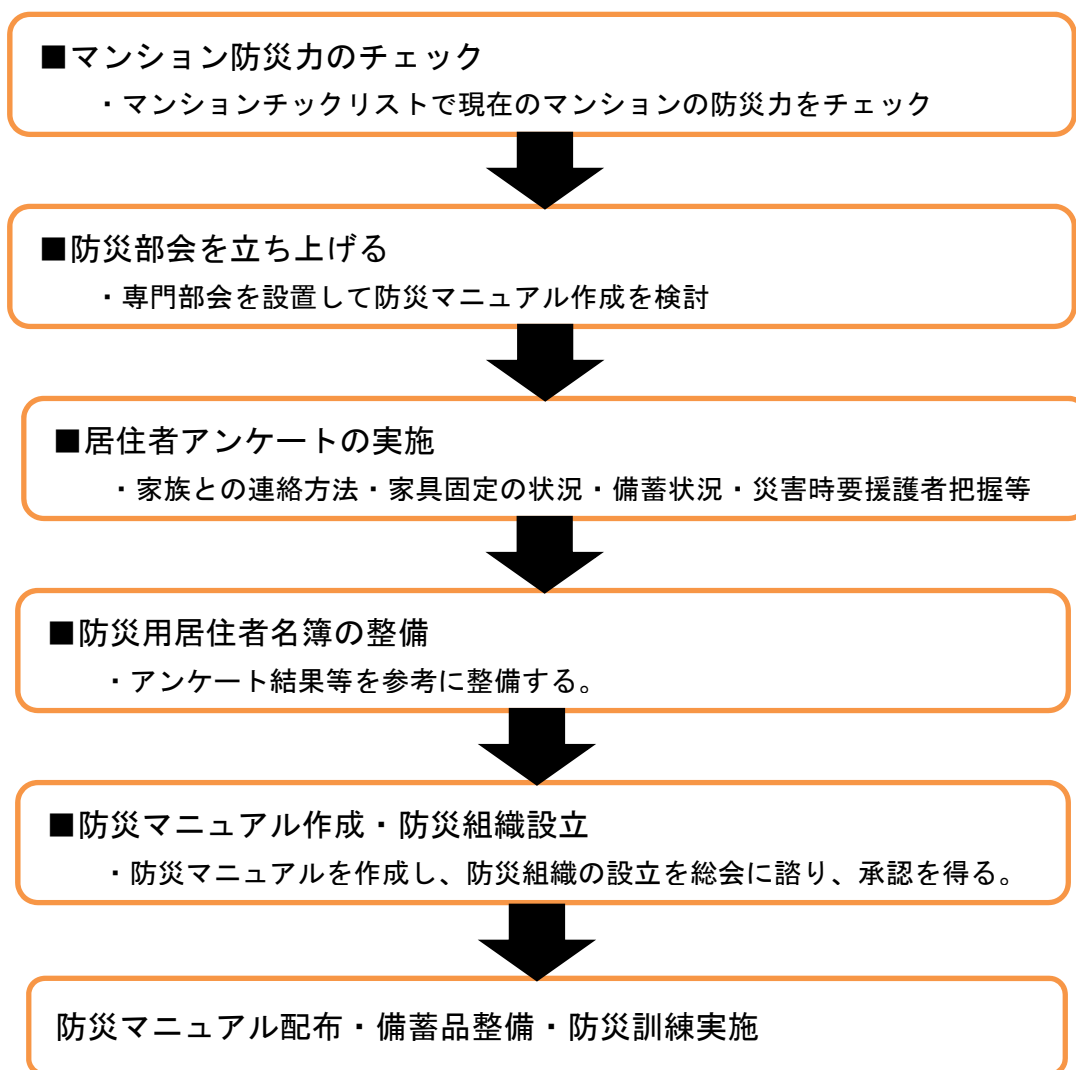
そして、いざ地震が来た場合の三つの助け合い度合いは

「自助」：「共助」：「公助」 = 7 : 2 : 1 と言われてしています。

いざ、地震が発生して消防隊や自衛隊が救助に来るまで、緊急時をマンションの「自助力」、地域の「共助力」で対応し、マンションの「自助力」で復旧していかなければなりません。

地震の被害を最小限にするには、この「自助力」つまりマンションの防災力を高めることが重要です。そのために必要となるのが、「マンションの防災マニュアル」です。

2、防災マニュアル作成・防災組織づくりまでの流れ



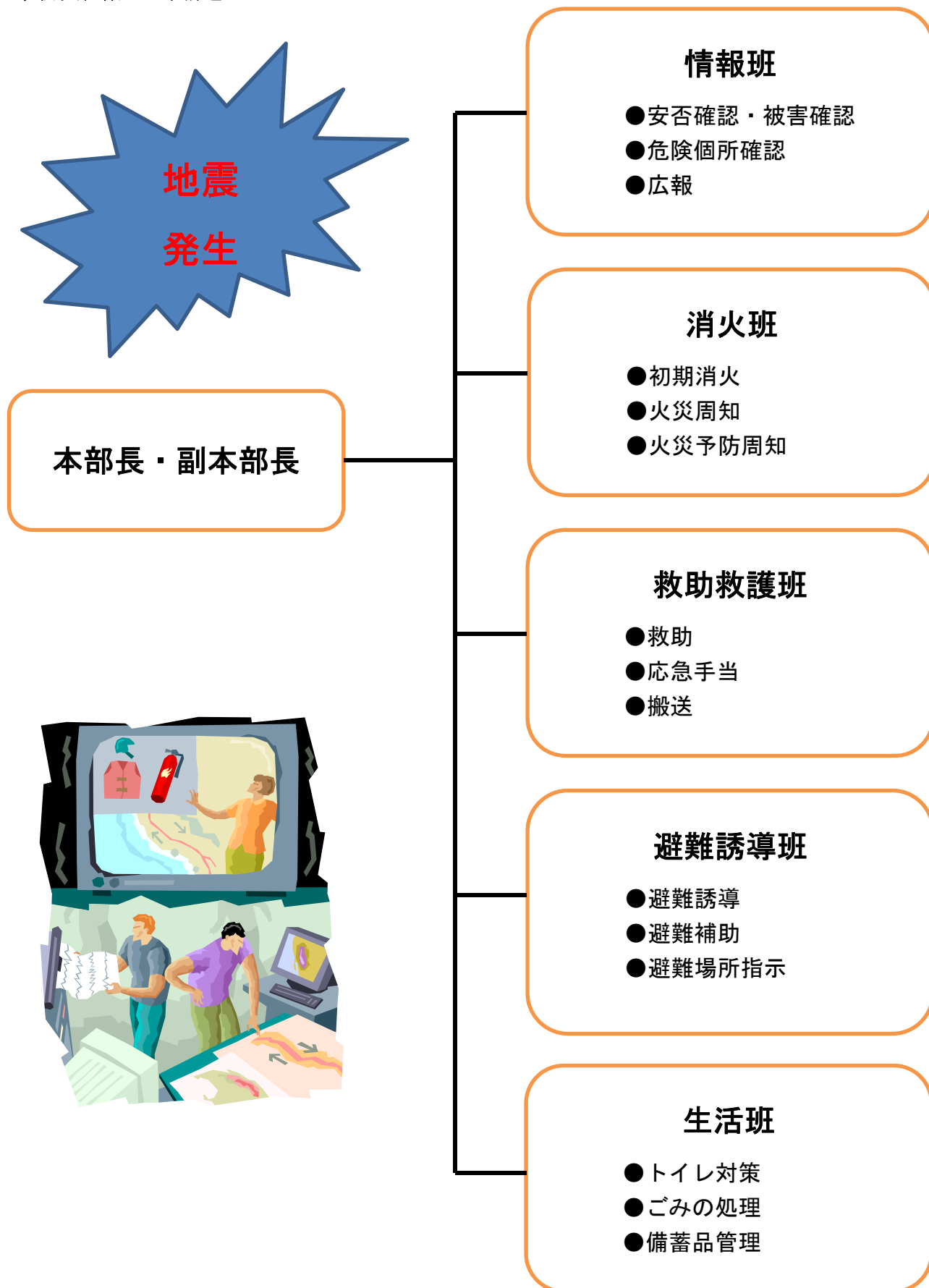
3、現在のマンションの防災力のチェックリスト

- 組合内に防災組織がある
- マンション内に自治会がある又は地域の町会に加入している
- 防災訓練を定期的におこなっている
- 組合として応急手当用品を備蓄している
- 組合として救助工具を備蓄している
- 組合として飲料水、非常食を備蓄している
- 緊急時要援護者^(注)を組合として把握している
- 安否確認方法を決めている
- 組合として消防用設備等をきちんと把握している
- 竣工図（設計図書）を保存している
- 組合として行政指定の避難場所を案内している
- 組合としてマンション内の避難ルートを周知できている
- エレベーターの仕様を把握している
- エレベーター等の保守会社の連絡先を把握している

(注) 災害時要援護者とは、高齢者・乳幼児・妊産婦・障がい者・災害時に安全な場所に避難する際に支援を要する人

内に、○又は×を付けてお答えください。 ○の数 () / 14

4、防災組織の基本構造



5、防災組織の構成と役割

以下の表を参考にマンションの戸数や事情に合わせて内容を変更しましょう。

班	大地震時の活動内容	平常時の活動内容
本部長 副本部長	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害対策本部の設置 ● 建物被害の把握と活動指示 ● 関係機関との連携・調整（行政、消防、管理会社、エレベーター保守会社） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建物、防災設備の実態把握と点検、調査 ● 建物の修繕計画、耐震補強等と連携した取り組み ● 防災活動（防災訓練等）の企画と実施
情報班	<ul style="list-style-type: none"> ● 居住者安否等・建物被害の情報収集 ● 危険個所の立入り禁止措置 ● 本部居住者への情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安否確認の方法の確立 ● 立入り禁止・使用禁止用のテープなどの準備 ● 防災に関する情報把握と提供
消火班	<ul style="list-style-type: none"> ● 火災の確認と初期消火 ● 二次災害防止のための居住者への火災予防周知 	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災設備の取扱いの確認 ● 消火訓練 ● 避難障害物の確認と除去
救助救援班	<ul style="list-style-type: none"> ● 救護所の開設と運営 ● 閉じ込め者の救助 ● 負傷者、災害時要援護者の救護等 ● 病院までの搬送と付添い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 応急手当の講習受講 ● 担架・医薬品などの備蓄管理
避難誘導班	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時要介護者の避難支援 ● 火災発生時、混雑場所・危険箇所での誘導 ● 建物・設備の安全確保 ● 地域避難所の情報提供 ● 地域と連携した建物内外における防犯活動の実施 ● 出入口管理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時要援護者の把握 ● 避難経路の確認 ● 地域避難所の把握
生活班	<ul style="list-style-type: none"> ● 備蓄品の配布 ● マンホールトイレの設置と衛生管理 ● 炊き出しの実施 ● 地域への協力 ● ゴミ集積場所の確保と管理 ● 不足品の調達 ● 飲料水、救護物資等の受入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災備蓄品の計画的配備と維持管理 ● 支援物資受入れ場所の確認

6、居住者名簿（千代田区防災計画用雛形を参考）

安否確認と災害時要援護者の確認用に防災用居住者名簿を整備しましょう。以下の様式を参考にしてください。

（マンション名）災害時専用名簿記入シート

氏名／通称				
号室		電話番号	固定	
			携帯	
性別				
年齢	<input type="checkbox"/> 乳児 <input type="checkbox"/> 幼児 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 歳代 <input type="checkbox"/> 前半 <input type="checkbox"/> 後半			
緊急時連絡先 ①	あて先		関係	
	住所			
	電話番号			
緊急時連絡先 ②	あて先		関係	
	住所			
	電話番号			
援護可能 スキル	資格・技術・特技：			
	持ち物：			

要援護者届 兼 災害時安否確認・援護依頼届

【任意記入欄】（記入事項があった場合は、可能な限り優先的に援護します。）

同居家族	（ 名） <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 子供（ 名） <input type="checkbox"/> 親（母・父） <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹				
昼夜同居数	朝		昼		夜間
要援護 種別	<input type="checkbox"/> 歳以上の者 <input type="checkbox"/> 障者 <input type="checkbox"/> 病人 <input type="checkbox"/> 妊婦 <input type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> けが人 <input type="checkbox"/> 外国人 <input type="checkbox"/> ペット <input type="checkbox"/> その他（ ）				
望む支援方法	<input type="checkbox"/> 安否確認 <input type="checkbox"/> 物資援助 <input type="checkbox"/> 介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
血液型	型	禁忌・アレルギー			
持病・かかりつけ医院					
安否確認のための破壊行為	（ ）ならば壊して入室してもよい。				
別記記入欄	必須薬、必須医療器具用具、平日休日の行動範囲・行動パターン、避難予定避難所、避難する際に連絡する者の名前、家族と落ち合うと決めた場所、疎開予定先連絡先、ペット種類、ペット年齢、かかりつけペット医院名、法定相続人の氏名・住所、遺言書の所在、遺言執行者氏名、墓所の所在地等。				

*災害時以外は使用・閲覧しない。

平成 年 月 日作成

7. 防災計画（防災マニュアル）作成の留意点

（1）時系列で作成

防災計画は、①通常時（防災訓練、備蓄品管理） ②災害直後（地震発生から1日まで） ③事後（2日～救援物資が届く4日頃まで） ④復旧 という段階で作成しましょう。

（2）避難するときの周知

マンションは建物の倒壊リスクは少ないため、大地震の際、多少の被害があっても、建物内に留まって生活を送りますが、行政から避難勧告・避難指示が出た場合等、止むを得ずマンションから避難する時は次の点を周知徹底するように計画しましょう。

- ① 出来る限り管理組合の集団で避難する
- ② 個人で避難する場合は避難先及び連絡先を対策本部に報告する

（3）エレベーター

多くのエレベーターは、地震を感知すると最も近い階に停止し、ドアが開く機能が備わっていますが、この機能がないエレベーターもあります。事前にエレベーター保守会社に次のことを確認し、計画に入れましょう。

- ① エレベーター内に閉じ込められた場合の救出方法
- ② エレベーター保守会社の復旧体制
- ③ エレベーター使用禁止の周知方法（使用禁止の貼紙等）

（4）安否確認

管理組合として、安否確認方法を定め、計画に入れましょう。例として次のような確認方法があります。

- ① 在宅者が決められた場所に集合し安否確認をする
- ② 在宅者がドアにあらかじめ決められた安否確認シールを貼る

（5）水の確保

受水槽のある場合は、受水槽の給水を止める方法を計画に入れましょう。

（6）排水制限

上下階で排水設備が壊れている場合がありますので、トイレ等では安易に排水しないことを計画に入れましょう。

（7）ゴミの問題

災害時はゴミの回収が止まります。被災ゴミが発生しますので、臨時のゴミ集積所の確保、ゴミ出し禁止の徹底等を計画に入れましょう。

(8) コミュニティ

災害時は、共助が必要になります。マンション内の居住者（居住者間のコミュニティ）との良い関係づくり、地域の町会等（地域コミュニティ）との関係づくりも計画に入れましょう。

8. 備蓄品リスト（参考例）

家庭の備蓄品リスト（自宅で被災生活をするために）	
保存水（1人1日3Lを3日分程度）	粘着ローラー
非常食（3日分）	笛・ホイッスル
ポリタンク	消臭剤
カセットコンロと替えのカセット	ラジオ
救急セット	電池
水のいないシャンプー	ゴミ袋
ウェットティッシュ	ビニールシート
ウェットタオル	寝袋
除菌ジェル	個人の必需品 (例) ほ乳瓶・離乳食・おむつ・薬 入れ歯・メガネ等
歯磨きシート	
LED ランタン	
懐中電灯	

管理組合の備蓄品リスト	
ヘルメット	マンホールトイレと専用テント
革手袋	浄水器
LED ヘッドライト	炊き出し用具
発電機と燃料	救助用具
投光器	階段搬送用具
コードリール	担架
無線機	ロープ
トランジスタメガホン	救急セット
ラジオ	毛布
ホワイトボード・情報シート	標識ロープ
ノーパンク自転車	カラーコーン
リヤカー	ビニールシート

●マンション防災計画参考例

●マンション防災スマートシート

〇〇〇マンション防災計画

〇〇〇マンション管理組合（第〇期）

1 目的

この計画は、震災等大規模災害発生時に居住者が、自らの生命・財産を守るために必要な自助の防災対策を行うとともに、居住者が相互に協力して災害に対応する共助の活動をするを目的として作成する。

居住者は、自助及び共助の防災対策を十分に理解し、本計画に基づき災害に対応するものとする。また、地域のコミュニティを形成する一員として、地域の活動に積極的に参加し、地域との連携強化を図る。

管理組合や自治会が主体となって本計画を策定し、共助をどの程度行えるかを把握したうえで、居住者各個人の備え（専有部分内の家具転倒防止や食料トイレ備蓄等）をすることの啓発を図る。

■マンション内の組織と周辺の状況

管理組合	理事長 電話番号 内部担当者／体制構築
管理会社	フロント担当 電話番号 内部担当者／体制構築
自治会	会長 電話番号 内部担当者／体制構築
町会	会長 電話番号 内部担当者／体制構築
マンション内委員会	
その他活動組織	
周辺の医療機関	院長 電話番号 内部担当者／体制構築
避難所	〇〇小学校 電話番号
二次避難所	

2 管理組合員等の役割

震災等の大規模災害が発生した場合、対策本部を設置して対応にあたり、居住者は対策本部の指示に従い行動する。対策本部は に設置する。

平常時には、対策本部と各班が円滑に活動できるように訓練を行う。

■災害時の活動・目的・存在意義

班 名	活 動
対策本部	

■平常時の訓練

班 名	訓練名	訓練の理由
	①	
	②	
	③	
	④	

■訓練時（災害時の活動時）の必要物資

訓練名	必要機材名	必要になる状況／用途／理由

■各班の成立の時系列

時系列	班 1	班 2	班 3	班 4	班 5
震災直後					
震災 5 時間後					
震災 10 時間後					
震災 24 時間後					

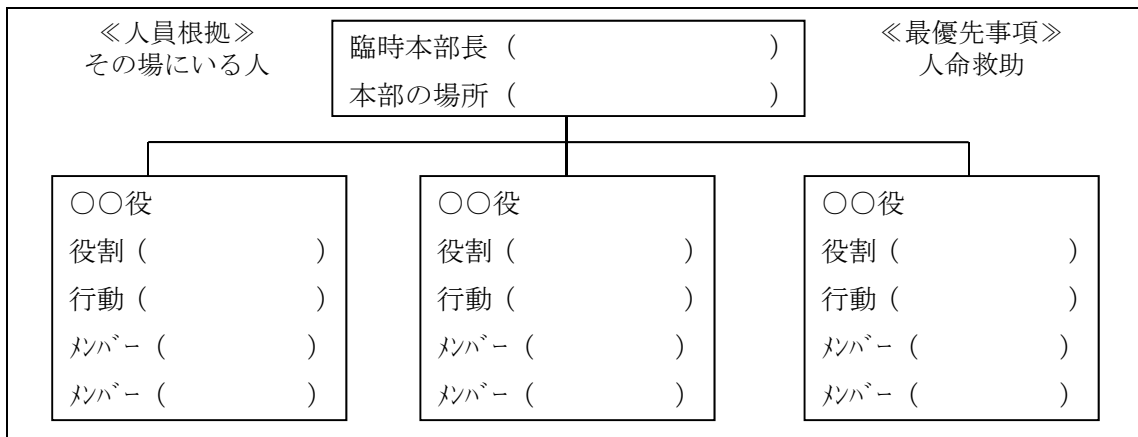
震災 2 日後					
震災 3 日後					
震災 5 日後					
震災 7 日後					

■連絡・組織体制

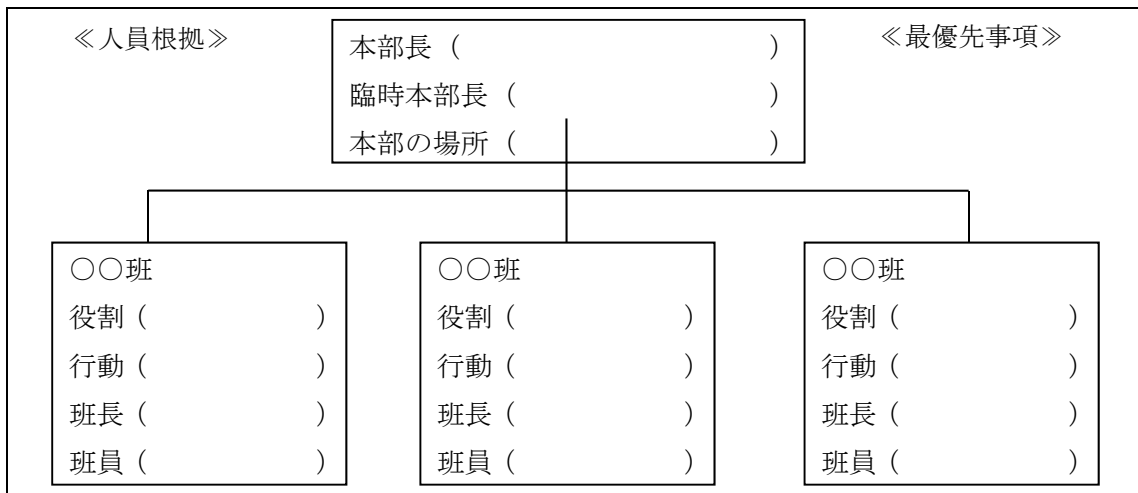
組織組成前

- 組織構成員は、自分、家族、大切な人の安否を確認する。
- 組織構成員は、自分の家の様子を確認し、ある程度片づけを行い、二次被害が起こらないように処置をする。
- 組織構成員は、両隣又は同じフロア、マンション内の知り合いのうち災害弱者の安否を確認する。
- 気持ちに余裕が出てきたら、管理組合業務（対策本部業務）に参加する。

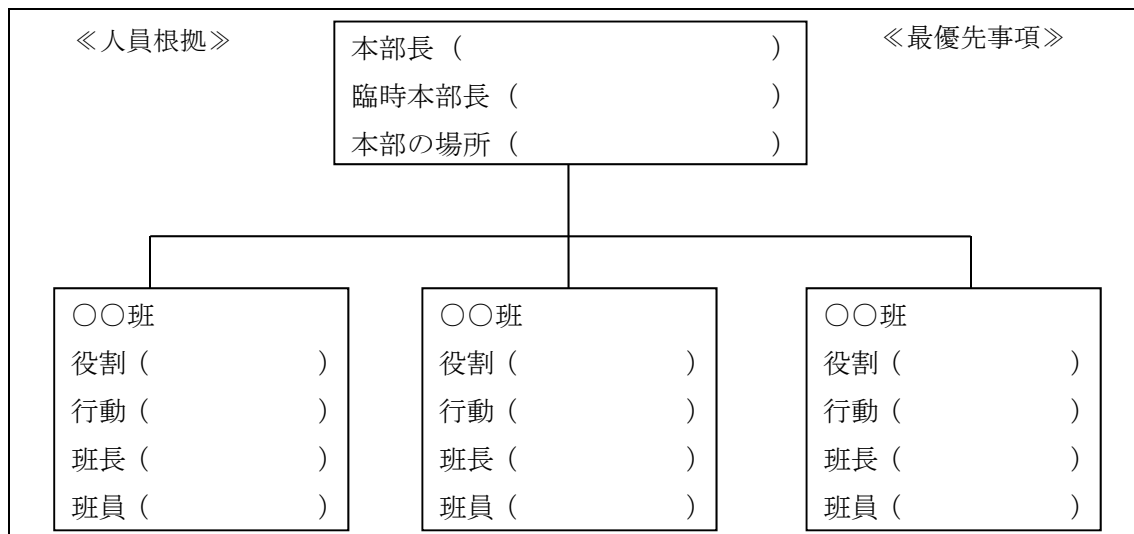
震災発生直後～〇時間



震災発生 1 日経過後



震災3日経過後



震災一週間経過以降

(主力となる男性陣は、社会復帰すべき時期であるため、内容を精査)

Large empty rectangular box for detailed organizational chart or notes.

3 エレベーター停止時のエレベーター内閉じ込め対策

エレベーターに、どのような震災対策機能や装置が備えられているかを把握し、どんな時に閉じ込めが発生するかを予測する。

地震時管制運転装置	
停電時自動着床装置	
リモート復旧	
機械室耐震化	
ロープ巻上機耐震化	
ロープ耐震化	
レールブACKET耐震化	
遠隔監視信号方法	
冠水時管制運転装置	
火災時管制運転装置	
遮煙ドア	
戸開走行防止装置	
ケーブル・コード	
フェッシャープレート	

(1) エレベーター内に閉じ込められた場合に備えて、非常用備蓄キャビネットを各エレベーターに設置する。内容物と使い方について、平常時から訓練を行う。

使い方	
備蓄物	
訓練	

(2) エレベーター保守業者の連絡先（詰所）

(会社名・担当者)	
(住所)	
(電話番号)	

(3) マンション内のエレベーター関連業者従業員の存在・訓練など

いる・いない	
--------	--

4 災害時要援護者名簿の作成

- (1) 管理組合は、災害時の援助を目的に、本人の意向を確認したうえで、高齢者等災害時に援助を必要とする居住者の氏名、性別、年齢、家族構成、緊急時の連絡先などを記した名簿を事前に作成する。合わせて、援護者となる者の情報も作成する。名簿の内容については下記の中から選抜して作成する。

要 援 護 対 象 者	<input type="checkbox"/> 歳以上の者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 病人 <input type="checkbox"/> 妊婦 <input type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> けが人 <input type="checkbox"/> 外国人 <input type="checkbox"/> ペット <input type="checkbox"/> その他 ()
整 備 す る 内 容 (任意)	<input type="checkbox"/> 望む支援の方法 <input type="checkbox"/> 血液型 <input type="checkbox"/> かかりつけの医院医師名 <input type="checkbox"/> 持病の種類 <input type="checkbox"/> 禁忌食 <input type="checkbox"/> 禁忌行為 <input type="checkbox"/> アレルギー <input type="checkbox"/> 必須薬 <input type="checkbox"/> 必須医療器具用具 <input type="checkbox"/> 平日、休日の行動範囲・行動パターン <input type="checkbox"/> 避難予定避難所 <input type="checkbox"/> 避難する際に連絡する者の名前 <input type="checkbox"/> 家族と落ち合うと決めた場所 <input type="checkbox"/> 疎開する場合の疎開先連絡先 <input type="checkbox"/> ペットの有無、ペット種類、年齢、かかりつけペット医院名 <input type="checkbox"/> 法定相続人の氏名・住所、遺言書の所在、遺言執行者氏名、墓所の所在地 <input type="checkbox"/> 安否確認の際の立ち入りの可否 <input type="checkbox"/> 立ち入り時の扉などの破損の可否
援 護 者 情 報	<input type="checkbox"/> 災害時に協力できること、特技 <input type="checkbox"/> 資格、技術、持ち物

- (2) 前(1)で作成した名簿は、 に保管し、 が責任を持って管理する。
- (3) 災害時に運用するためのルールと、その更新について別途定める。
- (4) 一覧表を作成し、弱者との種類が一目でわかるようにする。
- (5) 提出しない住戸は、災害時には優先的に対応しない。
- (6) 連絡表を整備するという事は、災害時には何らかの対処をすることを約束するものではない。

5 防災用資機材の確保・保管

防災用資機材を確保・保管するとともに、平常時にはその使用方法や管理方法、使用できる状況にあるかどうかなどを確認するための訓練を行う。

資機材名	数量	保管場所	使用可否 (最終確認日)

電池や燃料が必要な資機材は、利用を想定した時間数を確保できるように備蓄する。

■資機材ごとの訓練方法

資機材名	必要になる状況	訓練方法

■訓練（災害時の状況）に必要となる資機材と保管場所

訓練名 災害時状況	保管場所	使用方法・備蓄量等

6 居住者数の備蓄食料・トイレの確保・保管

【管理組合が備蓄する場合】

前提条件

- (1) 管理組合が、マンション内の居住者数を把握している。
- (2) 災害弱者について、把握している。
- (3) 配布の公平性・優先性について、議論をしている。
- (4) 備蓄日数について、電気・給水・排水・衛生・ゴミ処理等について議論している。

内容

- (1) 管理組合は、居住者の3日分の食料、飲料水及びトイレを[]に備蓄保管する。

食料	数量：	種類：
飲料水	数量：	種類：
トイレ	数量：	種類：
保管場所		

- (2) 前(1)の食料、飲料水及びトイレの配給は、対策本部が決定し〇〇班が公平に配給する。その際、要援護者に対する配慮に関して、優先度を定める。
- (3) 公平に配布するためのルールは、別途定める。
- (4) 汚物の処理について、行政からのゴミ収集が復活するまで[]に保管する。

【個別で備蓄+管理組合で足りない分を備蓄する場合】

前提条件

- (1) 管理組合が、マンション内の居住者数を把握していない。
- (2) 災害弱者について、把握していない。
- (3) 配布の公平性・優先性について、議論をしているが結論が出ない、または議論をしていない。
- (4) 備蓄日数について、電気・給水・排水・衛生・ゴミ処理等について議論している。(各戸に対して、何日分を用意しておけばよいかを周知させている。)

内容

- (1) 管理組合は、居住者に対して、3日分の食料、飲料水に備蓄保管することを周知させる。
- (2) 管理組合は、3日分の居住者全員の一人1日3回分のトイレを確保する。

トイレ	数量：	種類：
トイレの方法	①各戸のトイレの便座を挙げた状態で、ゴミ袋をかぶせる。 ②中蓋を下し、さらにゴミ袋をかぶせる。 ③用を足し、凝固剤を入れる（凝固材の代わりに、砂・ペット砂・ペットシート・大人用おむつ・新聞紙等でも良いが、処理のしやすさを必ず考慮すること） ④②のゴミ袋を縛って汚物ゴミとする。	

- (3) 管理組合は、要援護者に対する備蓄として、3日分の食料、飲料水を備蓄保管し、要援護者名簿に従って、〇〇班が公平に配給する。

食料	数量：	種類：
飲料水	数量：	種類：
トイレ	数量：	種類：

- (4) 4日以上トイレ使用不可になった場合の対処方法

--

7 地域との連携・協力体制

- (1) 居住者は、震災時に地域の町会と連携・協力体制を確立するため、平常時に町会等が行う行事に積極的に参加する。
- (2) 行事への参加に必要があるときは、管理組合のほかに自治会を結成する。
- (3) 震災等が発生し、対策本部または各居住者個人が当マンションに余力があると判断した場合には、地域の活動に協力する。

必要となるべき項目

けが人対応	
食料品調達	
病人対応	
飲料水確保	
専有部分片付け	
上下搬送	
調理・炊き出し	
風呂	
がれき片付	
道路整備	
情報取得	
避難（疎開）	
ゴミ処理	
衛生	
保温	
乳幼児・小学校低学年	

(マンション名) 管理組合 対策本部本部長 殿

(マンション名) 災害時専用名簿記入シート

氏名／ 通称				
号室	電話番号	固定		
		携帯		
性別				
年齢	<input type="checkbox"/> 乳児 <input type="checkbox"/> 幼児 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 歳代 <input type="checkbox"/> 前半 <input type="checkbox"/> 後半			
緊急時 連絡先 ①	あて先		関係	
	住所			
	電話番号			
緊急時 連絡先 ②	あて先		関係	
	住所			
	電話番号			
援護可能 スキル	資格・技術・特技：			
	持ち物：			

要援護者届 兼 災害時安否確認・援護依頼届

【任意記入欄】(記入事項があった場合は、可能な限り優先的に援護します。)

同居家族	(名) <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 子供 (名) <input type="checkbox"/> 親(母・父) <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹				
昼夜同居数	朝		昼		夜間
要援護種別	<input type="checkbox"/> 歳以上の者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 病人 <input type="checkbox"/> 妊婦 <input type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> けが人 <input type="checkbox"/> 外国人 <input type="checkbox"/> ペット <input type="checkbox"/> その他 ()				
望む支援方法	<input type="checkbox"/> 安否確認 <input type="checkbox"/> 物資援助 <input type="checkbox"/> 介助 <input type="checkbox"/> その他 ()				
血液型	型	禁忌・アレルギー			
持病・かかりつけ医院					
安否確認のための破壊行為	() ならば壊して入室してもよい。				
フリ-記入欄	必須薬、必須医療器具用具、平日休日の行動範囲・行動パターン、避難予定避難所、避難する際に連絡する者の名前、家族と落ち合うと決めた場所、疎開予定先連絡先、ペット種類、ペット年齢、かかりつけペット医院名、法定相続人の氏名・住所、遺言書の所在、遺言執行者氏名、墓所の所在地等。				

平成 年 月 日作成